

5ボタンワイヤレス USB Type-C BlueLEDマウス M-BL26DBCシリーズ ユーザーズマニュアル

このたびは、エレコム 5ボタンワイヤレス USB Type-C BlueLEDマウス "M-BL26DBC" シリーズをお買い上げいただき誠にありがとうございます。
このマニュアルでは "M-BL26DBC" シリーズの操作方法と安全にお取り扱いいただくための注意事項を記載しています。ご使用前に、必ずお読みください。また、このマニュアルを読み終わったあとは、大切に保管しておいてください。
※このマニュアルでは一部の表記を除いて "M-BL26DBC" シリーズを「本製品」と表記しています。

安全にお使いいただくために

■ 絵表示の意味

警告 この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などによる死亡や大けがなど人身事故の原因になります。

注意 この表示の注意事項を守らないと、火災やその他の事故によりけがをしたり、他の機器に損害を与えることがあります。

「してはいけない」ことを示します。

「しなければならないこと」を示します。

「注意していただきたいこと」を記載しています。

「お願いしたいこと」や「参考にしていただきたいたこと」を記載しています。

けがや故障、火災などを防ぐために、ここで説明している注意事項を必ずお読みください。

警告

本製品に水や金属片などの異物が入ったときは、すぐに使用を中止し、レシーバーユニットをパソコンから取り外して、マウスから電池を取り出してください。そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。

本製品が発熱している、煙がでている、異臭がしているなどの異常があるときは、すぐに使用を中止し、パソコンをシャットダウンさせ、火傷しないように発熱していないことを十分確認した後で、レシーバーユニットをパソコンから取り外し、マウスから電池を取り出してください。そのあとで、お買い上げの販売店またはエレコム総合インフォメーションセンターまでご連絡ください。そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。

本製品を次のようなところには置かないでください。

- 日中のあたる自動車内、直射日光のあるところ
- 暖房器具の周辺など高温になるところ
- 多湿なところ、結露をおこすところ
- 平坦でないところ、振動が発生するところ
- マグネットの近くなどの磁場が発生するところ
- ほこりの多いところ

本製品は防水構造ではありません。水などの液体がかからないところで使用または保存してください。
雨、水しぶき、ジュース、コーヒー、蒸気、汗なども故障の原因となります。

- パソコン用のマウス以外の用途には使用しないでください。
● 本製品の誤動作によって、重大な影響を及ぼす恐れのある機器では使用しないでください。
● ガラスなどの透明な場所や鏡など強く反射をする場所で使用すると、光学式センサーが正しく機能せず、マウスカーソルの動きが不安定になります。
● 1ヶ月以上マウスを使用しない場合は、レシーバーユニットをパソコンから取り外してください。
● 本製品および電池を廃棄するときは、お住まいの地域の条例および法令に従って処分してください。

■ バッテリーについて

注意

本製品には単4形アルカリ乾電池、単4形マンガン乾電池、または単4形ニッケル水素2次電池を使用してください。
本製品を長期間使用しないときは、電池を取り出しておいてください。液漏れや故障の原因になります。

■ お手入れのしかた

本製品が汚れたときは、乾いたやわらかい布でふいてください。

シナ、ベンジン、アルコールなど揮発性の液体を使用すると、変質や変色を起こす恐れがあります。

ワイヤレス(無線)についての注意事項

本製品は2.4GHz帯全域を使用する無線設備であり、移動体識別装置の帯域が回避可能です。電波方式にはGFSK方式を探用し、与干涉距離は10mです。

2.4GHz帯は、医療機器やBluetooth[®]、IEEE802.11b/11g/11n規格の無線LAN機器などでも使用されています。

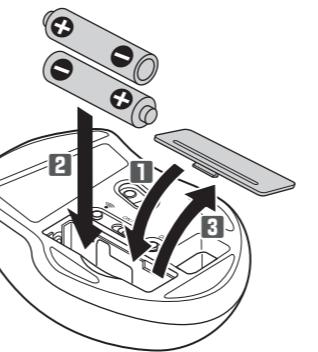
● 本製品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないか確認してください。

● 万一、本製品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合は、使用場所を変更するか、または本製品の使用を停止してください。

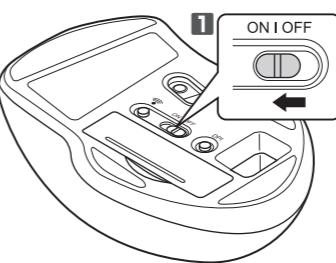
「他の無線局」とは、本製品と同じ2.4GHz帯を使用する産業・科学・医療機器のほか、他の同種無線局、工場の生産ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局を示します。

マウスの使用方法

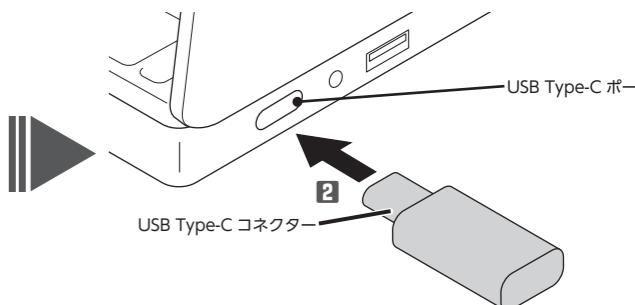
Step 1 電池を入れる



Step 2 電源をオンにする



Step 3 パソコンに接続する



1 電池カバーを取り外します。

2 電池取り出しシートの記載に合わせて電池を入れます。
電池取り出しシートが電池の下になるように入れてください。

● 種類の違う電池や新しい電池と古い電池を混ぜて使わないでください。電池が液漏れを起こし、故障の原因になります。
● 電池のプラス $+$ とマイナス $-$ の向きを正しく入れてください。

3 電池カバーを元通りに取り付けます。

電池を交換するときは
電池取り出しシートをひっぱって電池を取り出し、新しい電池に交換します。

1 電源スイッチをONの位置にスライドさせます。

電池残量表示ランプが一定時間赤色に点灯します。
※電池残量が少ないとときは、一定時間赤色に点滅します。

マウスの省電力モードについて
電池の消耗を抑えるため、電源スイッチがONの状態で操作せずに一定時間経過すると、マウスが自動的に省電力モードに移行します。マウスを動かすと省電力モードから復帰します。
※省電力モードから復帰後2~3秒間はマウス操作が不安定になる場合があります。

1 パソコンを起動します。

パソコンを起動し、操作可能な状態になるまでお待ちください。

2 レシーバーユニットをパソコンのUSB Type-Cポートに挿入します。

USB Type-Cコネクターは、表/裏に関係なく両面挿せます。

USBコネクターの端子部には触れないでください。

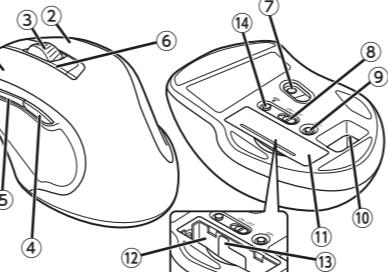
3 ドライバが自動的にインストールされ、マウスが使用できるようになります。

弊社Webサイトより「エレコム マウスアシスタント」をダウンロードしてインストールすると、ボタン割り当てができるようになります。また、Macintoshで「進む」ボタン/「戻る」ボタンが使用できるようになります。
裏面の「ボタン割り当て機能や高速スクロールを使用する」にお進みください。

レシーバーユニットを取り外す場合
本製品はホットプラグに対応しています。パソコンが起動した状態でもレシーバーユニットを取り外すことができます。

各部の名称とはたらき

■ マウス本体



⑥ 電池残量表示ランプ / カウント切替表示ランプ

● 電池の交換時期をお知らせします。
※電源を入れたとき、電池残量が十分あれば一定時間赤く点灯します。使用中に電池残量が少なくなると、一定時間赤く点滅します。

● カウント数(マウスカーソルの速度)を切り替えるときに点滅します。
※1200カウント→2400カウント切り替え時2回点滅
2400カウント→1200カウント切り替え時1回点滅

⑦ 光学式センサー

マウス本体に電源が入ると青色で点灯します。マウス本体を動かしたときに、このセンサーによってマウスの動きが検知されます。
※センサーの光を直接見ると目を痛めることができますので注意してください。

⑧ 電源スイッチ

マウス本体の電源を入(OFF) / 切(OFF)します。

⑨ ポインター速度変更ボタン

カウント数(ポインターの速度)を1200/2400カウントの2段階で切り替えができます。ポインター速度変更ボタンを押すごとに切り替わります。
お買い上げ時は、2400カウントに設定されています。

⑩ レシーバーユニット収納部

マウスを使用しないとき、レシーバーユニットを収納できます。

⑪ 電池カバー

このカバーを取り外して、電池を入れます。

⑫ 電池収納部

電池を収納します。

⑬ 電池取り出しシート

電池を電池収納部から取り出すときに使用します。

⑭ メンテナンススイッチ

工場出荷用のため、使用できません。

⑮ USB Type-C コネクター (オス)

パソコンのUSB Type-Cポートに接続します。

ポインターの速度を変更するには

ポインターの移動速度が速すぎるか遅すぎる場合、パソコン側でポインターの移動速度を調整できます。

■ Macintosh の場合

1 「マウス」のプロパティを表示します。

• Windows[®]10、Windows[®]8.1、Windows[®]8.1の場合
1. 画面左下のスタートボタンを右クリックし、「コントロールパネル」→「ハードウェアとサウンド」の順に選択し、「デバイスとプリンター」内の「マウス」をクリックします。

2 Windows Vista[®] の場合

1. [スタート]ボタンをクリックし、「コントロールパネル」を選択し、「ハードウェアとサウンド」の順に選択し、「デバイスとプリンター」内の「マウス」をクリックします。

3 Windows Vista[®] の場合

1. [スタート]ボタンをクリックし、「コントロールパネル」を選択し、「ハードウェアとサウンド」の順に選択し、「デバイスとプリンター」内の「マウス」をクリックします。

2 「軌跡の速さ」のスライダーを使ってポインターの速度を調整します。



「スクロールの方向: ナチュラル」のチェックをはずすと、従来通りの上下スクロール方向になります。

3 「ポインターの速度を選択する」のスライドバーでポインターの移動速度を調整します。



① 左ボタン

パソコンの操作の左クリックに使用します。

② 右ボタン

パソコンの操作の右クリックに使用します。

③ ホイール

指で前後に回転させたり、ボタンのように押すことで、パソコンの操作ができます。

④ 「戻る」ボタン / ⑤ 「進む」ボタン

「進む」ボタン
Webブラウザで「進む」の操作ができます。
「戻る」ボタン
Webブラウザで「戻る」の操作ができます。

Macintoshで「進む」ボタン/「戻る」ボタンを使用するためには、弊社Webサイトより「エレコムマウスアシスタント Macintosh版」を入手して、インストールする必要があります。

⑤ 「ボタン割り当て機能や高速スクロールを使用する」(裏面)

パソコンのUSB Type-Cポートに接続します。

